手作りフェドで デジタルテストをはじめようり Answer Box Creator

アンサー ボックス クリエイター





ワードでテストをつくってみよう! 手書きの解答をエクセルで採点しよう!

無理なく 始められる

A · B · C !

アンサー・ボックス・クリエイター

DNP 大日本印刷

Zetta ゼッタリンクス







STURE STOR

BERREN TO 4 S

820 DO 0-

領文字 200 1,2,3

連択5イブ 🔼 🕳 単一選択(5/1875/) 🧠 複数選択(5g/08/5/57)

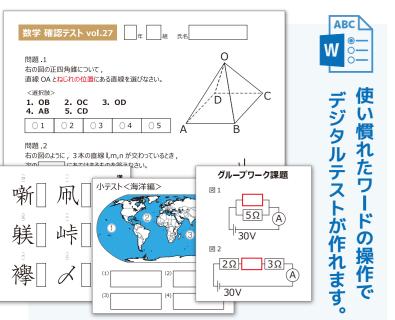
各問題に配点・選択肢の数などが設定できます。





授業支援ツールで 生徒に配付







「選択式・記述式解答欄

正解(正答例)の設定

各問題の配点の設定



・教材の充実

PCで

● タブレットで解答

タブレットに付属する

スタイラスペンで記入

(1) ∠d は ∠b の[

(2) ∠b の錯角は,

ピンチ / ストレッチで自由に拡大縮小。文字や図の細部まで確認できます。

画面タッチでの解答、タブレットを縦に持っての解答も可能です。

●紙とデジタルペンを使って解答

デジタルペンを使うと解答の手順を

自動的にデータ保存できます。



タブ

ツ

でも

で

も

簡単

12

解答

児童生徒

解答手

も

す

べて

デ

タ

保

存

さ

れ

ま

す



自動集計

串刺し採点

解答プロセ

0

10

10

0

0

A B C D E F 設問別正解率シート

• 個票の出力

校務との連動

• つまずきの発見

• 採点の効率化

クラス平均 A さん B さん

解答の手順

かかった時間

問題 1 02:28 02:25 **01:10**

問題 2 03:35 02:01 02:10

問題 3 00:58 **01:48** 01:06

鉛筆やボールペンを「デジタルペン」に持ち替えるだけで、事前に作成する模範解答や板書計画から解説動画をつくることができます

73%

エクセルで自動採点・一括集計

「テストの評価」を「先生の指導」にスムースに反映できます



の授業



(振り返りテ 常 な 小 テ ス **|-** 指導方針や授業計画を ブラッシュアップ 指導

理解度やつまずきを

データ分析・つまずきの発見

超时校

X Q

I 答 ク セ の

様子を把握 ル で解答デ タ を自動 指 に結び つ け ま

分析データから

動画解説・弱点の補強

速やかに評価・分析

ユーザーフィールドには評価する「観点」も設定可能。

タブレット PC・ICT 機器の利活用

解答用紙に書くだけで

デジタル保存できます

学校でタブレット PC を使うことが増えてきたから テストもそっちのほうが簡単かも。

> 先生のテストの説明が動画になってて とてもわかりやすかった。

タブレットの持ち帰り学習をやってるから デジタルテストは予習のまとめに使えます。

それらを再利用してデジタルテストにリメイクできます。

ほかのソフトで作ったテストやプリント、 私たちが**すでに使っている教材、問題集**も ワードに貼り付けるだけでデジタル テストを実施できます。コスト面でも 運用面でも大きなメリットですね。

誰でも使えるワードだからスムースに導入できる

授業を受け持つ先生の声

ワードファイルの利活用

自分で作ってきたプリントはすべてワード形式。



ワード専用の 「ABCリボン」を搭載。 先生も生徒も快適に 操作できます。



デジタルテストのハードルは決して高くない

ICT 機器の稼働率を全校レベルで向上させる

いろいろな ICT ツールを導入してきましたが、なかなか デジタル化できなかったのが生徒のためにつくるプリント。 ABC を導入すれば多くの先生のニーズに答えられますね。 タブレットと手書きについての研究授業にもぴったり。 学校全体で ICT 活用を盛り上げていけそうです。

ICT担当の先生の声

エビデンスに基づいた教育施策につながる



地域間の学力差、同じ地域の学校間の学力差、 それらが先生方の指導とどう関係するのか 明確なエビデンスとして把握できそうです。 好例があれば、教員向けの講習や勉強会などで 多くの方とシェアしていきたいです。

エビデンス収集・学校全体の活性化

教育行政担当者の声

校務の効率化・モチベーションの向上に

私たち教員を悩ませるのが、膨大な校務。 テストの採点と**校務システムとの連携**ができれば、 転記漏れなどの**人為的なミスも減って安心**できます。 心に余裕が生まれさえすれば、生徒の学力のケアや 保護者への説明責任なども充分に果たせます。 なにより、テストを通して教え子の努力が自動的に データとして返ってくれば、授業運営や指導法の 改善へのモチベーションも高まりますよね。

校長先生の声

自分の授業の改善点がわかったのは大きい

数値で見える理解度・形成的評価テスト

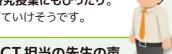
授業の準備、授業、テストづくり、採点までをひとりで やっていると、どうしてもルーチンワークになりがち。 試しに**デジタルペンで解説ムービー**をつくってみると、生徒の 気持ちになって自分の指導をみることができ、改善すべき ところがはっきりわかりました。ムービーをひとつ作れば 他のクラスでも使えますし、同じ科目の先生にチェックして もらうこともできますから、授業の質の向上につながります。

「評価 | と「指導 | を一体化できるツール

定期テストなどの「総括的評価」では、単元によっては 中途半端な理解のままで終わってしまうことがあります。 簡単な小テストでもいいから、スムースに運用できて、すぐに **結果が見える**ようになれば、生徒の日々の「**形成的評価**」が できるようになります。次の時間にもう一度解説しようとか、 グループ学習でちょっと難しい問題に取り組もうとか、

一歩踏み込んだ授業の組み立てができるようになりますね。







Answer Box Creator PUTLAGE Answer Box Creator

■価格:オープン

ボリュームライセンス価格・WiCC 圏域包括メニュー価格・他製品とのパッケージ価格などについては 価格の提示条件や製品の提供条件がございます。お気軽にお問い合わせください。

■ システム要件

OS

- Windows 8.1 (64bit/32bit 日本語版)
- Windows 7 SP1 (64bit/32bit 日本語版)

タブレット PC で解答する場合は、Windows 8.1(64bit/32bit 日本語版)のみ対応しています。 Windows 8.1 (64bit/32bit 日本語版)には今後対応予定です。

- Microsoft Office 2013 / 32bit / 日本語版
- ・ .NET Framework 4.0 および 4.5

ソフトウェア

VSTO 2010 ランタイム

<解答済みテストファイルの動画再生をする場合>

- ThinkBoard プレイヤー Windows 版

<参考> ThinkBoard プレイヤー http://www.zettalinx.co.jp/products/tb/

各 OS の推奨仕様 および Microsoft Office 2013 の推奨仕様に準拠します。

CPU・メモリ

Windows 8.1 http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows7/products/system-requirements

Windows 7 http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/system-requirements

Office 2013 http://products.office.com/ja-jp/

ストレージ インストール用に 200MB 以上の空き容量が必要です。

インストール · アプリケーションのインストールには PC の管理者権限が必要です。

■ オプション製品

デジタルペン

- ADP601 アノト方式デジタルペン (Bluetooth USB アダプター付属)

※OpenNOTEとの併用が可能です。

<参考> OpenNOTE http://www.dnp.co.jp/opennote/

デジタルペン記入用紙

・次のメーカーが販売するプリンター リコー / 沖データ / 富士ゼロックス /NEC/ エプソン / キヤノン / カシオ

対応機種の個別の情報は各メーカーにお問い合わせください。

最新情報は Answer Box Creator の WEB ページにもリンクがございます。

ABC で作成したワードの テスト文書の配付 / 回収

対応プリンター

· LinxBoard リンクスボード

<参考> LinxBoard http://www.zettalinx.co.jp/products/lb/

■お問い合わせ

DNP 大日本印刷

教育 ICT ソリューション推進室 第1グループ Tel. 03-6735-6195

Zetta ゼッタリンクス

ゼッタリンクス株式会社 <東京/大阪/仙台/福岡> 東京本社 営業本部 Tel. 03-5615-3761

[●] Microsoft、Windows、Word、Excel は米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。●記載されている法人名、団体名、ブランド名、および商品名などは、商標または登録商標です。● このリーフレットの内容は 2015 年 4 月現在のものです。●各製品の仕様は予告なく変更する場合があります。最新情報は WEB サイトをご確認いただくか、各社までお問い合わせ下さい。● 使用している画像には開発中の画面を含みます。●このリーフレットに含 まれている情報の許可なき複製・頒布を禁止いたします